

## 【B Corp™認証 設立20周年】

20年間に世界中で発生したB Corpムーブメントと  
それによりもたらされた多くの変化を振り返るレポートを公開  
-コミュニティが原動力となり、未来を見据えて築き上げられた歩みとは-

国際認証制度「B Corporation™」(以下、B Corp™)を運営する米国の非営利団体B Labは、B Corpコミュニティの設立20周年に際して、2026年5月19日(火)、[インパクトレポート](#)を公開しました。



### B Corpムーブメントとは

2006年、B Corpムーブメントはコミュニティの力によって誕生しました。従来の評価基準とは異なるアプローチを選択した81社の先駆的な企業によって設立され、その後、さらに数千社がこれに続きました。このグローバルなコミュニティが設立20周年を迎えるにあたり、過去20年間にわたるそのインパクトを振り返ります。

今日、このムーブメントは105カ国、160の業界にまたがり、10,700社以上のB Corpが誕生。B Corpで働くワーカーは、合計で100万人以上に及びます。2006年にこのムーブメントが始まった当時、企業が株主だけでなくステークホルダーの利益のために存在し得るという考えは、急進的なものだと見なされていました。それから20年が経ち、その主張は大規模な実証を経て、法令にも反映されるようになっていきます。[ベネフィット・コーポレーション法](#)、すなわち株主至上主義を超えたパーパスを持つ企業のための法的な枠組みが、世界51の国と地域で導入されています。

## B Labが発行する『20周年アニバーサリーインパクトレポート』

今回発行する『20周年アニバーサリーインパクトレポート』に基づく調査では、20年にわたる実践が示してきたことを数値化しています。たとえば、現在のB Corpと同じペースですべての企業が環境・気候対策を実施すれば、2100年までに世界の気温上昇を0.5°C抑制でき、これはパリ協定に向けた重要な貢献となります。また、別の調査によると、新型コロナウイルスの流行期間中、B Corpの95%以上が事業を継続したのに対し、類似した他社では88%にとどまりました。このデータは、ステークホルダー・ガバナンスが倫理的な選択であるだけでなく、戦略的な選択でもあることを裏付けています。

過去20年にわたり、企業が持続可能な成長と長期的な存続を推進しながら、B Corpコミュニティは、社会が直面する最も差し迫った課題に取り組むことができることを実証してきました。B Corpは、[より公正な職場環境を創出し、環境の再生に貢献しています](#)。B Corpは、事業の中核に「パーパス」を組み込むことで、[経済的な逆風の中でも強靭性を築き上げ、売上高や従業員数の伸びにおいて同業他社を上回る成果を上げています](#)。これらは、利益至上主義という分かりやすいお題目に留まらず、より広範で意義深い企業の成功の定義を受け入れた結果です。

このコミュニティの強みは、その多様性にあります。現在では、業界、企業規模、地域を問わず広がっています。自然の権利を代表するステークホルダーを企業の取締役会に迎え入れたり、株を見直したりするなど、ビジネスモデルにまたがる様々なイノベーションが新たな先例を打ち立て、B Corpを、責任ある未来志向のビジネスの在り方を再定義するリーダーとしての地位に押し上げています。

### <20周年記念コンテンツ一覧>

- 20周年キャンペーン特設サイト  
<https://www.bcorporation.net/en-us/twenty-anniversary-campaign/>
- 20周年アニバーサリーインパクトレポート  
<https://infogram.com/1t9r3xvmw8m8gkb8oq1r9eq8m3sqvkrw16m>
- 20周年アニバーサリームービー  
<https://www.youtube.com/embed/LX14hYCsPxs?si=UTJWJVDJonjHBcZi>

### <B Corpムーブメントのあゆみ>

- 構想から制度化へ(2006年～2011年):「Bインパクトアセスメント」によって宣言の原則が体系化される。初期の賛同者たちが実践を通じてそれらを体現し、メリーランド州は2010年にベネフィット・コーポレーション法を通じてそれらを法制化した。
- ひとつの国から世界へ(2011年～2016年):米国での小さなスタートから、ラテンアメリカ、オーストラリア、アオテアロア・ニュージーランド、そしてヨーロッパへと広がり、この運動は37カ国に及んだ。ブラジルのNaturalは、上場企業として初めてB Corp認証を取得し、このモデルが文化、法制度、経済の異なる地域においても通用することを証明した。
- 理論から実践へ(2016年～2021年):2010年代後半までに、B Corpは70カ国で活動するようになり、台湾や韓国などが新たに加わった。日本でも、2016年春に2社のB Corpが誕生した。

新型コロナウイルスの流行後、不確実な状況下で安定とコミュニティのつながりを求めるリーダーたちにより、B Corpへの申請件数は38%増加した。

- ニッチな存在から不可欠な存在へ(2021年~2026年): 環境危機や社会危機が深刻化するにつれ、B Corpモデルの重要性は否定できないものとなった。この時点で、このムーブメントは当初目指していた通り、消費者、同業者、そしてビジネスリーダーから勝ち取った信頼を、コレクティブ・アクションへと転換し始めていた。

### <コレクティブ・アクションの事例>

コレクティブ・アクションの事例はすでに世の中に認められています。90以上のB Corp認証を取得した美容ブランドが加盟する「B Corp Beauty Coalition」は、世界で最も動向が注目されている業界のひとつで、ツールや知識を共有し、政策変更に向けたロビー活動を行っています。2025年、この運動はブラジルで開催されたCOP30に対し、世界中のB Corpが共同署名した初の共同マニフェストを提出。政府や企業に対し、気候変動に加え、自然の喪失、社会的不平等、ガバナンスにおける短期的思考といった関連する課題にも取り組むよう求めました。

B Corpは、[新たに策定された、より厳格な”新基準”](#)を通じて、認証への取り組みをさらに強化する準備を進めています。この基準では、気候アクションから人権に至る7つの「インパクト・トピック」において、企業がベースとなる基準を満たすことが求められ、その遵守状況は独立した第三者監査機関によって検証されます。

B Labの次の章は、20年にわたる勢いを活かし、より広範なインパクトを生み出すことにあります。その指針となるのは、次の5つの戦略的優先事項です。世界最高レベルの基準と信頼性の高い認証を通じてレベルを上げること、意欲的で包摂的なグローバルコミュニティを維持・拡大すること、地域や業界を越えたコレクティブアクションを深化させること、ステークホルダー・ガバナンスを法制度に定着させるための提言活動をまとめあげること、そして、メインストリームに属するビジネスリーダー、政策立案者、投資家からの期待を再構築する新たな成功の物語を築き上げること。

B Corpというモデルが機能するかどうか問われているフェーズでは、もはやありません。この運動が20周年の先に向うなかで、焦点は「ビジネスは別のやり方で運営できる」ことを示すということから、そのモデルを拡大し、コレクティブな力を活用してより広範な文化的・経済的変革を推進することへと移りつつあります。

『[20周年アニバーサリーインパクトレポート](#)』の全文は、[bcorp.com](https://bcorp.com)でご覧いただけます。

## B Labメンバー及びB Corp代表者コメント

### <B Labメンバーからのコメント>

**B Lab Board Chair**(理事長) フランシーヌ・レモス

B Corpであることは日々のなかで、企業が影響を与えるステークホルダーを大切にすることを示しています。ステークホルダーとは、株主だけでなく、従業員、サプライヤー、顧客、コミュニティ、そして自



然そのものです。このようなアプローチは、私たちの社会においてかつてないほど切実に求められています。それが可能であることはわかっています。今こそ、これを常識にしなければなりません。

#### **B Lab** チーフ・スタンダード・オフィサー クレイ・ブラウン

B Corpムーブメントの注目すべき点は、世界的な拡大だけではありません。それ以上に、この運動が象徴する『期待の変化』こそが重要なのです。20年前、企業が従業員や地域社会、そして地球に与える影響を測定することは、例外的な取り組みと見なされていました。しかし今日では、多くの人々がそれを当然のことと期待しています。私たちの現在の課題は、その変化を加速させ、責任あるビジネスが、あらゆる場所で『良いビジネス』のあり方そのものとなるようにすることです。

#### <B Corpからのコメント>

##### **Natura**(ブラジル) サステナビリティ・法務・コーポレートレピュテーション担当副社長

アナ・コスタ氏

過去20年にわたり、B Corpムーブメントは、社会におけるビジネスの役割を再定義するよう世界に働きかけてきました。Naturalにとって、このグローバルコミュニティにおいて初めて上場企業となったことは、大きな誇りであると同時に、大きな責任でもあります。私たちは、B Corpであることは単なるラベルではなく、企業市民としての責任と再生への取り組みと切り離せないものであると信じています。

##### **Danone**(フランス) CEO アントワーン・ド・サン＝アフリック氏

10年にわたる取り組みの末、グローバルの全ての関連会社でB Corp認証を全面的に取得できたことは、Danoneにとって画期的な節目であり、全従業員にとっての誇りです。B Labが設立20周年を迎えるにあたり、私たちは、ビジネスが人々と地球にとって善の力となり得ることを示している様々な規模の何千もの企業と共に歩むことを誇りに思います。そして、世界規模でレジリエンス、イノベーション、そして前向きな変革を推進していきます。

##### **Triodos Bank**(オランダ) CCO(チーフコマース責任者) ヤッコ・ミナール氏

B Corpムーブメントは、自社の商品やサービスを通じて真の社会的ニーズに応えることを目指す企業を結集させると同時に、それらの企業が活動する経済・規制システムの変革に積極的に貢献することを目的として設立されました。私たちは、パーパスと信念に突き動かされ、システムを内側から変革していくこうした企業を必要としています。B Corpが認証基準を引き上げていることは極めて重要です。これにより、B Corpは今後も灯台のような役割を果たし続け、自然と調和し、生活の質を向上させる経済へと私たちを導いてくれるでしょう。世界に良い影響を与えたいと願う企業のコミュニティの一員であることを、私たちは誇りに思います。

##### **King Arthur Baking Company**(アメリカ) ソーシャル&環境インパクト担当・副社長

スザンヌ・マクダウェル氏

B Corpムーブメントが、規模だけでなく、その確固たる自信においてもこれほどまでに成長した姿を見るのは、実に心強く感じられます。かつては反動的な動きと見なされていたものが、今ではますます当然のこととして期待されるようになっていきます。20年後には、企業が『人』と『地球』を優先するかどうかではなく、いかにしてそれを実現しているか——つまり、協働、説明責任、そして実証に基づいた経営体制をいかに構築しているかが問われるようになることを願っています。



### **Tony's Chocolonely**(オランダ) **CEO** ダグラス・ラモント氏

B Corpムーブメントは、この20年以上にわたり、パーパス主導のビジネスが単に成立するだけでなく、実際に繁栄していることを証明してきました。

### **Small Giants**(オーストラリア) マネージング・ディレクター ダニー・アルマゴール氏

持続可能なビジネスを当たり前にするためには、資本とビジネスの目的を再定義しなければなりません。私たちなら、その目標を達成できると信じています。地域社会への投資や革新的な協働に力を注ぐ無数のB Corpに、私は大きな刺激を受けています。10年後、私が語りたいのは単なる成長の話ではなく、築き上げた深い友情の話です。私たちが進化していく中で、決して忘れてはならない核心的なアイデンティティがあります。それは、何かに『反対する』のではなく、何かに『賛同する』ための運動であり続けるということです。

#### < **B Lab**について >

B Labは、すべての人々、地域社会、そして地球の利益のために世界経済を変革する非営利団体です。経済システムの変革をリードする当団体のグローバルネットワークは、企業向けの基準、方針、ツール、プログラムを策定しており、その先頭に立つ企業を「B Corp」として認証しています。現在、コミュニティには、105カ国、160の業界にまたがる10,000社以上のB Corpに所属する100万人の従業員が参加しています。

詳細は、<http://bcorporation.net/> をご覧ください。

#### < **B Market Builder Japan**について >

B Market Builder Japanは、日本のB Corpと共にムーブメントを主導し、「インクルーシブかつ公平で公正な経済」を目指すB Labの公式パートナーです。世界経済を変革していくグローバルコミュニティの一員である日本のB Corpとそのコミュニティが、世界とのつながりを強化するために活動しています。

詳細は、<https://bcorporation.jp/> をご覧ください。

< **B Corp**認証について > B Corpとは、B Labが定める社会的・環境的パフォーマンス、透明性、説明責任に関する基準を満たしていることが確認された企業です。ステークホルダーからの意見、調査、および確立されたベストプラクティスに基づいて策定されたB Labの基準は、B Corp認証の要件やB Labのインパクト管理ツールの基礎となっており、ネットワークのプログラムやコレクティブ・アクションのイニシアチブにも反映されています。

#### < 本件に関するお問い合わせ >

本件、本レポート内の掲載事例、及びグローバル・日本のB Corpに関する  
掲載・取材については以下までお問い合わせください。

**B Market Builder Japan (PR: 木村) [press@bcorporation.jp](mailto:press@bcorporation.jp)**